

1 基本事項

- 1 児童・生徒の体調ならびに学習環境を考慮して使用する。（管理諸室・特別教室も同様です。）
- 2 地球環境への配慮、省エネ、地球温暖化防止等の学習をするなど、すべての教職員・児童・生徒が環境・省エネに対する意識を高め、効率的に活用する。
- 3 空調設備（以降「エアコン」という。）の管理責任者は、施設管理者（教頭）とする。
- 4 各教室のリモコンは教職員が管理をし、エアコンの操作（電源の操作・温度の設定等）は、必ず教職員が行う。
- 5 エアコンの稼働時間は原則、午前8時から午後4時までの時間帯とする。
- 6 体育および特別教室での授業等で40分以上教室を空けるときは、電源を切る。
- 7 各教室の管理責任者（担任）と日直職員は、電源の切り忘れがないか確認する。（教室のエアコンは職員室で入・切が確認できます。）

2 運用上の注意事項

- 1 夏季のエアコン稼働期間は、概ね6月から9月までとし、気温、湿度、風、日射量等を考慮して、室温が28℃となるように温度設定をして使用する。
- 2 冬季のエアコン稼働期間は、概ね12月から3月までとし、気温、湿度、風、日射量等を考慮して、室温が18℃となるように温度設定をして使用する。
- 3 感染症等の蔓延を防ぎ、教室内の環境を保持するために、適宜、扉や窓を開けて十分な換気に努める。
- 4 偏在する冷気や暖気を教室内全体に効率よく循環させるために、扇風機・サーキュレーターと併用する。
- 5 外気温を遮断し、教室内に効率よく空調できるよう、カーテンやグリーンカーテン等を活用する。
- 6 教室清掃の際は、フィルターの目詰まりを防ぐため、いったんエアコンの運転を停止し、窓を開けて行う。
- 7 プールの後で髪が濡れていたり、運動後で汗をかいていたりする場合は、よく乾かしてから使用するなど体調を崩すことがないように注意する。

3 管理上の注意事項

- 1 省エネルギーおよび空調効率を維持するため、稼働期間の前（5月ごろ）には、室内機のフィルターを清掃する。「4解説2-④」
- 2 児童・生徒が触れてけがをすることがないように、設備（室内機、室外機、配管等）に触らないように注意する。
- 3 エネルギー効率が下がらないよう、室外機周辺には物を置かないようにする。
- 4 フロン排出抑制法に基づき、3か月に1度の目視点検と3年に1回以上の定期点検を行う。

- 5 エアコンのスイッチには、設定温度、稼働時間を記したルールを表示する。
- 6 教室内に温度計を設置し、室温を把握する。

4 解説

1 温度設定について

- ① 学校環境衛生基準の「第1 教室等の環境にかかる学校環境衛生基準」をもとに設定しています。

検査項目	基準
温度	17℃以上 28℃以下であることが望ましい。
相対湿度	30%以上 80%以下であることが望ましい。

- ② 小中学校は、「特定建築物に該当する建築物であり、空気調和設備を設けて空気を供給する場合は、建築物衛生法に基づく基準が適用される。」ため、該当する項目を基準としています。

検査項目	建築物環境衛生管理基準	学校環境衛生基準
温度	(1) 17℃以上 28℃以下 (2) 居室における温度を外気の温度より低くする場合は、その差を著しくしないこと。 (空気調和設備を設けている場合)	17℃以上 28℃以下であることが望ましい。
相対湿度	40%以上 70%以下 (空気調和設備を設けている場合)	30%以上 80%以下であることが望ましい。

参考『学校環境衛生管理マニュアル「学校環境衛生基準」の理論と実践【平成30年度改訂版】』（文部科学省）

2 省エネについて

- ① 運転を開始するときに多くの電気を使いますので、こまめに運転を停止するより温度設定で調整しましょう。
- ② 風量設定を「弱風」や「微風」にすると、運転時間が長くなり、多くの電気を使いますので、「自動運転」にしましょう。
- ③ 室外機への直射日光を遮蔽することで約10%の省エネにつながります。
- ④ エアコンのフィルターを定期的に清掃することで10~20%の省エネ効果があります。
- ⑤ 夏の節電
 - ・冷房時に設定温度を1℃高めに設定すると、約10%の節電になります。
 - ・冷たい空気は下にたまりやすいので、風向きは水平にしましょう。
- ⑥ 冬の節電
 - ・暖房時に設定温度を1℃低めに設定すると、約10%の節電になります。
 - ・暖かい空気は上にたまりやすいので、風向きは下向きにしましょう。

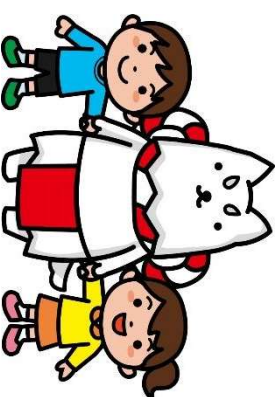


いわたしエアコン運用指針

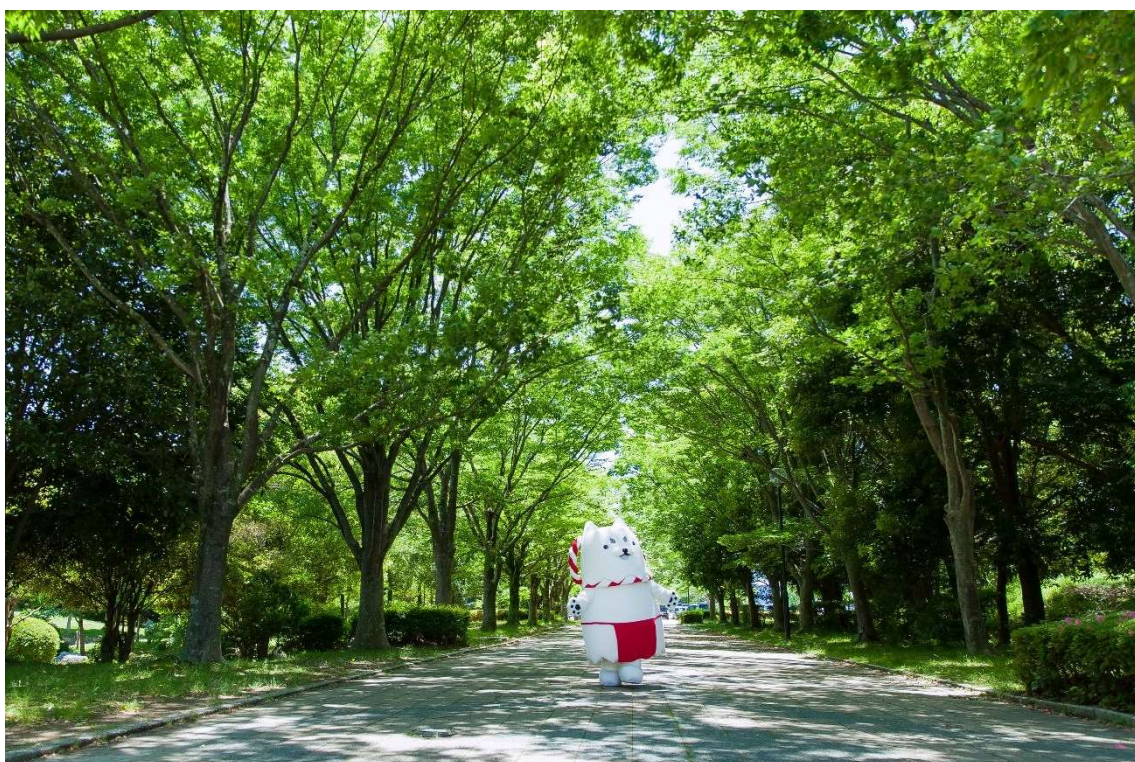
- **環境・省エネ**を意識して効率的につかいますよう
- エアコンの**操作は先生**がおこないますよう
- エアコンの稼働は**8：00～16：00**までです
- 夏は**6月～9月**、冬は**12月～3月**につかいますよう
- **冷房の室温は28℃**になるように設定しましょう
- **暖房の室温は18℃**になるように設定しましょう
- **扇風機**やサーキュレーターなどと**一緒に**つかいますよう
- カーテンや**グリーンカーテン**を活用しましょう
- 年1回**フィルター**清掃しましょう
- 室外機周辺には**物を置かない**ようにしましょう



エコアゾン21
認定番号0007676



磐田市立小・中学校空調設備運用指針



磐田市教育委員会

令和2年1月